

令和 7 年 6 月 5 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和5年度から令和7年度	
会 社 名	有限会社下里組	
住 所	〒399-8602 長野県北安曇郡池田町大字会染8362-1	
代 表 者 名	下里裕正	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地
担 当 部 署		
担 当 者 名	下里裕正	
連 絡 先	T E L	0261-62-9367
	F A X	0261-62-9458
	電子メールアドレス	simosato@dhk.janis.or.jp
ホームページアドレス	http://www.	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

- ・ 社員の産業廃棄物処理に関する認識をより一層の向上をはかる。
- ・ 法に基づく適正処理の基本について、社員一人一人が認識し、実施できる体制を引き続き推進する。
- ・ 收拾分別し処分することにより減量化、適正処理の徹底を図る。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	7 年度目標値	6 年度実績値	5 年度実績値	4 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	300	571.25	756.9	257
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	300	571.25	756.9	257
売上高の推移 (円)	150,000,000	171,550,000	118,446,000	174,000,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・現場毎に掲示板を設置し、産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理方法を記入し、付近住民に情報公開を行う。
- ・現場毎、担当者が処理場へ行き、許可内容・処理施設の状況等の確認を行う。
- ・産業廃棄物に関する講習会、説明会等に参加し、改正事項、事例、注意事項などを学ぶ。資料は、その都度出席者が、社内勉強会で全員に説明し、理解の向上を図る。
- ・型枠材など、極力、メタルフォームを使用し、残存型枠利用する。
- ・資材発注に際し事前に加工図を描き、残材を少なくするよう計画し発注する。
- ・現場では、産業廃棄物の分別を徹底する。
- ・書類の両面印刷行う。
- ・社内文書はミスプリント用紙の裏面を使用する。
- ・現場発生の土砂は指定のないものは自社置き場にストックし、再利用を行う。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	7年度目標値	6年度実績値	5年度実績値	4年度実績値
再生砕石	100	100	100	100
アスファルト合材	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100